

はくしま
④7 新白島駅整備事業

受賞機関 広島市 道路交通局 都市交通部

<評価>

JR山陽本線と広島市の新交通システムであるアストラムラインが交差する白島地区で、それぞれの新駅を整備し、連絡通路で結んだ事業。結節点強化により1日あたり約7千人の利用者が増加した点や、厳しい空間的制約下で、開放的な駅空間を実現した外観・空間のデザイン性の高さが評価された。

はじめに

新白島駅は、JR山陽本線と新交通システムのアストラムラインが交差する白島地区において、それぞれの新駅として整備し、平成27年3月14日に同時開業した。両駅は屋根のついた連絡通路によって結ばれ、天候に影響されないスムーズな乗り換えが可能となっている。また、周辺にはバス停、タクシー乗降場、駐輪場も整備しており、本市の新たな交通結節点としての役割を担っている。

事業の概要・成果

アストラムライン新白島駅は、主要幹線道路である国道54号の両側3車線の車道に挟まれた中央分離帯内に位置し、駅舎が半地下になるという厳しい制約のもとで事業が計画された。

本市中心部への「シティ・ゲート」をイメージしたシンボリックなデザインとなっている半円筒形シェルの屋根は、リブと鋼板による鉄骨構造を採用した。さらに、地下躯体をU型断面とすることで、内部の柱や梁を設けることなく開放的な空間を確保している。また、大小さまざまな開口部を設けて自然光を採り込む半屋外空間とすることで、交



新白島駅整備事業

通量の多い国道54号との間を緩やかに遮断する快適な空間を生み出している。

おわりに

新駅の利用実態を把握するため、開業から概ね一年が経過した平成27年度末時点での利用状況を調査したところ、速達性・定時性に優れるアストラムラインやJRの利用者の利便性が向上し、アストラムラインの1日当たりの利用者数は平成27年度に初めて6万人を超えるなど、両駅はターミナル駅として機能するとともに、公共交通ネットワークの充実・強化に大きな役割を果たしている。

賛助会員 (株)河崎組、鉄建建設(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)フジタ

④8 真庭市CLT市営住宅建設事業 (CLT建築の普及促進)

受賞機関 真庭市 建設部 都市住宅課
岡山県 土木部 都市局 建築営繕課

<評価>

CLTと呼ばれる直交集成板を用いたCLT工法によって、公営住宅としては全国で初めて建設された市営住宅建設事業。新たな木材需要の創出等の観点から利用促進が期待されるCLT工法に先駆的に取り組んだ点や、気密性能や遮音性能の実証実験を行い技術的知見を蓄積した点などが評価された。

はじめに

CLTは、直交集成板と呼ばれ1990年代にヨーロッパで開発され日本でも循環型社会における新たな木質構造材として期待されている。

岡山県真庭市は、林業者、製材業者、CLT製造工場等の産業基盤が整っており、材料供給、製造加工、運搬及び施工までの一連の生産体制により木材産業全体の活性化を目指している。真庭市は、岡山県と連携してCLT建築の普及に向けた人材育成と技術開発を全国に先駆けて推進しており、実証建物として、公営の賃貸住宅としては全国初のCLT工法による市営住宅を建設した。

また、岡山県では平成27年度から3年計画で新しい建築材料であるCLTを普及させるため、産学官連携による「岡山県CLT建築開発検討会」を設置し、CLT工法の情報収集・発信、人材育成及び技術開発等に取り組んでいる。

事業の概要・成果

市営住宅において(木造CLT工法3階建て・延床面積281.06㎡)下記性能試験を実施し、得られた情報を公開している。



市営CLT春日住宅



CLTオブジェ

- 空気音遮断性能及び床衝撃音レベル測定・気密性能試験
- クリーブ測定試験・含水率・温湿度調査

岡山県においては、CLTオブジェの製作・展示、学生を対象にしたデザインコンペ及びCLT建築シンポジウム等を実施することにより、幅広くCLT建築の普及啓発を行った。

おわりに

市営住宅の遮音性能については、想定していた3級レベル(L-60)及びそれ以上の性能を得ることができた。特に軽量床衝撃音では、特級レベル(L-35)の性能であることが確認された。

普及促進としては、おかやまマラソンの展示ブースに4,750人、JR岡山駅前に設置したCLTオブジェには10日間で約12,700人の来場者があり、学生コンペには全国32の学校から63作品の応募があるなど、CLTの魅力を広く発信できた。

賛助会員 三和建設(株)